

学校関係者評価委員会開催資料

学校法人北海道安達学園
札幌観光ブライダル・製菓専門学校

開催日：2025年2月28日（金）13：00～14：30
出席委員：外部側関係者（業界団体関係者2名、企業関係者3名、姉妹校卒業生1名）
学校側関係者（理事長、学校長、副校長、学校長代理、事務局長、教務部長代理、学科長）

2024年度自己評価&学校関係者評価シート

札幌観光ブライダル・製菓専門学校

1、教育理念・目標、人材育成

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
1-2	学校の特色は何か	4	4
1-3	学校の将来構想を抱いているか	4	4
評価項目総括	学校法人北海道安達学園では、3つの教育方針である「基礎知識・技術の習得」「専門知識・技術の習得」「社会性の習得」に基づき、学園使命である、教育事業を通じて、社会に貢献する人材の育成に努めています。本年度はコロナウイルスがほとんど終息し、動きが活発になり企業様との連携を強化し教育活動に取り組む事ができた。		
各評価委員からの意見や課題	観光・ブライダル・製菓の業界の動きが活発化し、企業からの求人数、インターンシップ等の機会も増加し、より企業様との連携を強化できた。次年度以降も引き続き産学連携の強化をし学生の学びの向上のため、より実践的な授業を実施していく。		
今後の改善方針	授業運営における産学連携のさらなる強化を図る。		

2、学校運営

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
2-1	運営方針は定められているか	4	4
2-2	事業計画は定められているか	4	4
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	4
2-4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4	4
2-5	意思決定システムは確立されているか	4	4
2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
評価項目総括	運営方針は、事業計画にまとめ、毎年作成している。事業計画は、法人理事会の承認を得て、幹部運営会を経由し周知を図っている。運営組織は、組織図に全教職員を組織上に位置づけ、幹部会議、校務会会議、職員会議を通じて意思決定システムを構築している。人事、給与に関する規定については、法人総務部で一括整備・管理を行っている。賃金の決定は、業務査定・業績査定に応じ行われている。さらなる教育効果向上を目指し勉強会の実施をする。教育ICTのさらなる充実により効率化を図る。		
各評価委員からの意見や課題	コロナウイルスやインフルエンザに感染した学生が数名いたが、自宅待機後、登校してきた際、資格試験前に、特別補習等でカバーするようにした。		
今後の改善方針	より効果的で効率的な授業運営や教務運営を実施するため、更なる情報共有をし改善に取り組む。		

3、教育活動

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられて	4	4
3-2	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4	4
3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	4
3-5	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	4	4
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
3-7	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-8	教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	4
3-9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
3-10	資格取得の指導体制はあるか	4	4
評価項目総括	学びの充実を図るため、様々な授業構成を組み、より実践的な授業運営ができたのではないかとと思われる。今後の海外旅行客の増加を見越し、即戦力となる実習はもちろん、語学教育、社会人マナー、様々な文化を学ぶカリキュラムの実践しその取り組みに企業様からも評価をいただいた。 プライダル学科では学生が主体となって卒業生の結婚式をプロデュースし新郎新婦、親族、参加者から非常に評価の高い結婚式を企業様との連携で実践することができた。		
各評価委員からの意見や課題	行事やイベント運営を職員で意見を出しあい、また企業様との連携で新たな取り組みを実施することができた。企業の人材不足にともない早期研修者（内定者）の増加が予想されるため、より即戦力を意識した授業運営を実践する。		
今後の改善方針	教育編成委員会において各委員からの助言をもとにより実践的なカリキュラムの編成を行う。		

4、教育成果

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
4-1	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
4-3	退学率の低減が図られているか	3	3
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
評価項目総括	多くの企業様から求人をいただき、就職希望者内定率 98.2%（残り2名が就職試験の結果待ち）。資格取得に関しても、各学科新たなチャレンジを行い資格取得率の向上を図ることができた。退学率の低減のため面談の回数増加、早期のフォローを実施したが集団生活に馴染めず、また精神的な問題から解決できない学生もいた。		
各評価委員からの意見や課題	就職指導、資格取得については引き続きの取り組みを実施する。また集団生活に馴染めない、精神的に弱い学生などの学校生活におけるより細かいケアをすすめる。		
今後の改善方針	各クラス担任、授業担当職員の情報共有を密にし引き続きの対応を実施する。		

5、学生支援

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
5-1	就職関する体制は整備されているか	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
評価項目総括	授業だけでなく、個別面談の実施や就職指導を実施することでより細かい学生対応ができたと思う。企業説明会などもオンラインでの実施を促進し、引き続き多くの企業様との連携をとる事ができた。企業からの既卒向けの求人などに関しても学内で使用している共有システムを使用しながら各学生の状況の確認や就職の斡旋等ができています。		
各評価委員からの意見や課題	卒業生の状況把握をする上で、精神的に弱かったり、金銭的な理由など止むを得ない事情もあるが、各企業と連携し再就職のサポートなど強化していく。卒業後、留学に行った学生が帰国した際、面接練習等、就職サポートを積極的に行った。		
今後の改善方策	企業との連携強化。		

6、教育環境

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
6-2	学科実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
評価項目総括	学内施設は、実際の現場で使用されている設備を整えプロと同じ設備にこだわっている。学外実習、インターンシップについては十分な教育体制を整備しており、コロナウイルスがほとんど終息したとはいえ、感染対策を徹底し企業様との連携のもと多くの学生がインターンシップを経験できている。防災訓練は、避難方法等を指示して実施をしている。		
各評価委員からの意見や課題	時代の流れに即した新しい形での実習や研修、インターンシップを含めた校外実習など実践する。		
今後の改善方策	企業、団体、地域とのさらなる連携の強化。		

7、学生の募集と受け入れ

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	3
7-2	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
7-3	入学専攻は適性かつ公平な基準に基づき行われているか	4	4
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
評価項目総括	本校は、北海道私立専修学校各種学校連合会の加盟校であり、連合会の定めたルールに基づいた募集時期・内容を遵守している。また、入学案内、募集要項、ホームページ等の通り、適正に募集活動は行われており、学納金及び教科書・教材費等は毎年見直しを行い、適正かつ妥当であると思う。入学専攻方法も募集要項の通り、適正かつ公正な基準をもとに実施している。		
各評価委員からの意見や課題	観光業界への業界不安から、募集活動において影響を受けた学科があるが、旅行需要の回復により業界不安の払拭や仕事のやりがいが増え入学希望者へ伝わってきている。また、海外留学生からの入学希望者が増えてきている。		
今後の改善方策	高校生にわかりやすい広報活動を実施し、様々な機会の中で説明会などを実施する。また、海外留学生向けに、就職対策として、日本語理解の授業を実施する。		

8、財務

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
評価項目総括	財務は学校運営の重要な一つである。事業計画を基に中長期の展望を見据え、収支予算計画を作成する。学校、理事会、評議員会と複数の目によるチェック体制のもと、より現実的な予算編成となっている。会計監査は、監事による監査及び公認会計士による監査を実施、計算書類は適正である旨の監査報告書をいただいている。 財務情報の公開体制については、組織的に取り組んでいる。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません。		
今後の改善方策	特にありません。		

9、法令等の遵守

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
9-2	個人情報に監視、その保護のための対策がとられているか	4	4
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4	4
評価項目総括	法令や設置基準等に従い適正に運営を行っている。自己点検・自己評価の結果について公開を速やかに行っている。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません。		
今後の改善方策	特にありません。		

10、社会貢献

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	4
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
評価項目総括	可能な限りできるボランティア活動（北海道マラソンの水分補給スタッフ・さっぽろ雪まつり会場のアナウンス等）を実施、ブライダル学科では卒業生の結婚式をプロデュースし、学内のドレスや備品等も使用し実施、新郎新婦並びにご家族、出席者から高い評価をいただいた。		
各評価委員からの意見や課題	各学科ごとに様々な取り組みを行い多方面から評価を頂いたが、今後はさらに幅を広げ学校として取り組むボランティア活動、社会貢献活動を実践する。		
今後の改善方策	引き続きの取り組みを行う。		

11、国際交流

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
11-1	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	4	4
評価項目総括	外国人滞在数が多いニセコでのホテルインターンシップをホテル学科、製菓学科が実施し言語の問題だけでなく実生活においても多くの経験ができた。サンドイッチ留学制度利用者においても現地で多くの経験をつみ、帰国後のキャリア形成に生かしている。海外留学生が22名在籍しており、普段の学校生活から交流を深めている。		
各評価委員からの意見や課題	ニセコでのインターンシップなど国内にしながら国際交流ができる場所での研修の実施などを行い、学生の語学力が向上した。海外留学生向けに、日本語教育を実施し、卒業後に日本の生活に馴染むように実施した。		
今後の改善方策	インターンシップや留学生向けの日本語教育を引き続き取り組みを行う。		

■今後の取り組みについて

各評価項目について、各評価関係者からの意見や課題を踏まえ、今後の改善方策等を計画的に検討し実施して行くことを学校関係者評価委員一同確認し、教育体制を強化していく。また、教育課程編成委員会とも連携し教育体制の強化を図る。